

パリDAC通信(アクラハイレベルフォーラムの採択文書はAAA~AAA第2次ドラフト)

9月に開催されるアクラハイレベルフォーラムで採択される予定のAAA(Accra Agenda for Action:アクラ行動計画)第2次ドラフトが公開されました。

#### ■パリ宣言実施を加速化させるAAA

今年実施された第2回パリ宣言モニタリング報告書などによると、パリ宣言の進捗は必ずしも充分ではなく、目標年である2010年における達成に向けて取り組みを加速化させる必要が生じています。このための行動計画を記載したAAAがアクラハイレベルフォーラムで閣僚級会合にて採択される予定です。

#### ■広範な背景に位置づけられるAAA

2008年は、開発成果を議論する国連MDGサミットや援助量を議論する開発資金フォローアップ会合なども開催されます。このため、AAA第2次ドラフトでは援助効果向上をこれらの広範な背景で理解する必要があることが謳われたり、また2005年以降に浮上してきた、援助アクターの増加や食糧価格高騰などの新たな開発課題をも考慮する必要性が指摘されています。

#### ■パリ宣言の取組を加速化する3つの鍵はオーナーシップ、パートナーシップ、開発成果

AAA第2次ドラフトでは、パリ宣言の取組を加速化させるための主要な行動計画として「開発プロセスに対する被援助国のオーナーシップ強化」、「包括的なパートナーシップの構築」、「開発成果の創出と説明責任」の3つを掲げています。特に、被援助国政府だけでなく議会、地方政府、学術機関、労働組合、非政府組織の能力開発が重要であり、このためにドナーは被援助国の能力開発戦略に整合した技術協力を展開すること、また援助を実施する際には財政、調達などの被援助国のシステムを可能な限り活用すること、援助のアクターが増加する中でアクターの役割分担をより明確にすること、開発成果を創出していくために説明責任や透明性を高めていくことなどが求められています。

#### ■援助効果作業部会で議論されたAAA第2次ドラフト

先日開催されたDAC援助効果作業部会ではAAA第2次ドラフトの議論に大半の時間が費やされ、特に被援助国のシステム活用、政策コンディショナリティの削減、援助量の予測可能性などの実現可能性について、どこまで野心的になり、かつ実現可能かについて議論が交わされました。今後は少数国によるAAA起草グループでの議論を経て、最終的にはアクラHLFにて閣僚級出席者が直接交渉し、合意に至る予定です。

(AAA第2次ドラフトは、[www.accrahlf.net](http://www.accrahlf.net)にてご覧いただけます。)